

令和 8 年度 「交通信号工事士」 学科試験問題

【注 意 事 項】

- 1 終了予定時刻は 15 時 15 分です。(1 時間 30 分)
開始 30 分以降に退出可能ですが、再入場はできません。
実務試験受験の方は、事前説明開始の 15 時 25 分までに入場してください。
- 2 ページ数は、表紙及び白紙を含めて 11 ページです。
- 3 解答は、黒の鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。
- 4 四肢択一式です。
解答を 1 つ選択してマークシートの数字をマークしてください。
問 1 から問 30 まで、すべてを解答してください。
- 5 退出の時は、マークシートを提出してください。
問題用紙はお持ち帰りください。
- 6 マークシート記入上の注意
 - (1) 受験番号(数字 9 桁)は左詰めで記入してください。
 - (2) 受験番号の各数字をマークしてください。
 - (3) 試験地を氏名下の枠内に記入してください。

フリガナ		年	月	日	受験番号：左詰め										
氏名	シン ゴウ タ ロウ	2026	9	13	番 号										
氏 名					3	0	9	8	2	6	7	6	5		
← 試験地を記入		0	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2	2	2	2	●	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	●	5	5
		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

1. 記入欄・マーク欄以外には記入しないで下さい。
2. 鉛筆で、しっかり濃くマークして下さい。
3. 間違った場合には、消しゴムで、きれいに消して下さい。

マーク例

良い例	●	悪い例	○	○
-----	---	-----	---	---

問 1 交通管制システムにおいて主要交差点の信号制御をより高度化し、計測した交通流から最適な青時間を秒単位で計算する制御方式はどれか。

- ① 路線自動感应制御
- ② 右折感应制御
- ③ モデラート制御
- ④ プログラム多段制御

問 2 車両感知器で計測する交通流の説明について、次の（ ）に入るものはどれか。

交通流を人手にたよらず自動的に測定するには、車両感知器装置を使います。一般的な車両感知器は、車線上から（A）を発射させて、感知器の下を車両が通過した場合に、路面より高い車体から反射してくる時間のほうが、路面から反射してくる時間より（B）なるのを利用して車を検出しています。さらに、車両を検出している状況を（C）に変換して、この（C）により、渋滞などの交通状況判定に用いられています。

- | | A | B | C |
|---|-----|----|-----|
| ① | 超音波 | 短く | パルス |
| ② | 赤外線 | 長く | パルス |
| ③ | 超音波 | 長く | データ |
| ④ | 赤外線 | 短く | データ |

問 3 信号灯器を点灯する場合、タイミングの設定がポイントになる。そのタイミングの主な三要素とされるものはどれか。

- | | | | |
|---|------|-------|--------|
| ① | 現示 | サイクル | スプリット |
| ② | サイクル | スプリット | クリアランス |
| ③ | 現示 | スプリット | オフセット |
| ④ | サイクル | スプリット | オフセット |

問４ 光ビーコンの車両感知器機能及び双方向通信機能等により、安全・快適にしてやさしい交通社会を実現するシステムはどれか。

- ① P T P S
- ② U T M S
- ③ I T S
- ④ E P M S

問５ 右折現示のある３現示で必要となる標準的なステップ数はどれか。

- ① １０ステップ
- ② １２ステップ
- ③ １４ステップ
- ④ １６ステップ

問６ 交通信号工事における現場代理人の責務として最も適当でない内容はどれか。

- ① 適正な施工と労務の安全を管理する
- ② 適正な道路の使用と交通の安全を確保する
- ③ 発注者の求める施工品質の確保に努める
- ④ 下請負業者の施工については一切関与しない

問７ 事業所における日常的な安全管理として最も適切でないものはどれか。

- ① 作業前の体調確認
- ② 安全教育の継続実施
- ③ 危険作業の無断実施
- ④ 作業手順の共有

問 8 作業開始前の安全確認として最も適切な行為はどれか。

- ① 工期短縮を最優先する
- ② K Y 活動（危険予知活動）を行う
- ③ 監督者不在で作業開始
- ④ 天候を考慮しない

問 9 安全掲示物として現場での掲示が必要なものとして最も不適当なものはどれか。

- ① 現場代理人健康保険証
- ② 建設業の許可票
- ③ 施工体系図
- ④ 労働保険関係成立票

問 1 0 労働基準監督署への事故報告で正しいものはどれか。

- ① 任意提出
- ② 重大事故のみ対象
- ③ 法令に基づき報告が必要
- ④ 元請のみ不要

問 1 1 車道上における車両用信号灯器の設置高さとして最も適当なものはどれか。

- ① 3, 5 0 0 mm 以上
- ② 4, 0 0 0 mm 以上
- ③ 5, 1 0 0 mm 以上
- ④ 7, 0 0 0 mm 以上

問 1 2 労働安全衛生法で定める悪天候の場合に、直ちに作業を中止しなければならない条件で最も適当でないものはどれか。

- ① 1 回の降雨量が 5 0 m m 以上のとき
- ② 1 回の降雪量が 2 5 c m 以上のとき
- ③ 瞬間風速が毎秒 3 0 m を超える風するとき
- ④ 震度 2 の地震が発生したとき

問 1 3 作業主任者が直接指揮・監視を必要とする作業で最も適当でないものはどれか。

- ① 深さ 1 m のコンクリート基礎の破壊
- ② 土留め支保工の切りばりや腹起しの取付け、又は取外し作業
- ③ 酸素欠乏危険箇所での作業
- ④ 掘削面の深さが 2 m 以上となる地山掘削作業

問 1 4 施工管理者の主な役割として最も適当でないものはどれか。

- ① 工程管理
- ② 安全管理
- ③ 原価管理
- ④ 発注者の代行契約

問 1 5 道路使用許可が必要となる理由として最も適当なものはどれか。

- ① 工期短縮
- ② 交通への影響
- ③ 契約条件
- ④ 下請管理

問 1 6 信号制御方式の説明として最も正しいものはどれか。

- ① すべて手動
- ② 時間帯別制御がある
- ③ 信号現示は固定不可
- ④ 車両感知器は不要

問 1 7 光ビーコンの主な機能として最も適当なものはどれか。

- ① 信号灯点灯
- ② 音声出力
- ③ 交通情報提供
- ④ 車両停止

問 1 8 根巻基礎施工で締固め不足が招く最も重大なリスクはどれか。

- ① 見た目不良
- ② 沈下・傾斜
- ③ 配線不良
- ④ 工期延長

問 1 9 交通信号施設においてD種接地工事が求められる理由として最も適当なものはどれか。

- ① 機器の誤動作防止
- ② 電気料金削減
- ③ 感電防止
- ④ 配線本数削減

問 2 0 単独交差点において、周辺交差点との連動を考慮しない制御方式として最も適切なものはどれか。

- ① 面制御
- ② 線制御
- ③ 点制御
- ④ 広域制御

問 2 1 現示階梯図の主な役割として最も正しいものはどれか。

- ① 現示の順序と切替関係を示す
- ② 信号の色配置を示す
- ③ 信号機の外観を示す
- ④ 配線経路を示す

問 2 2 オフセットが特に重要となる交通条件として最も適切なものはどれか。

- ① 単独交差点
- ② 歩行者専用交差点
- ③ 連続した交差点が存在する幹線道路
- ④ 夜間交通

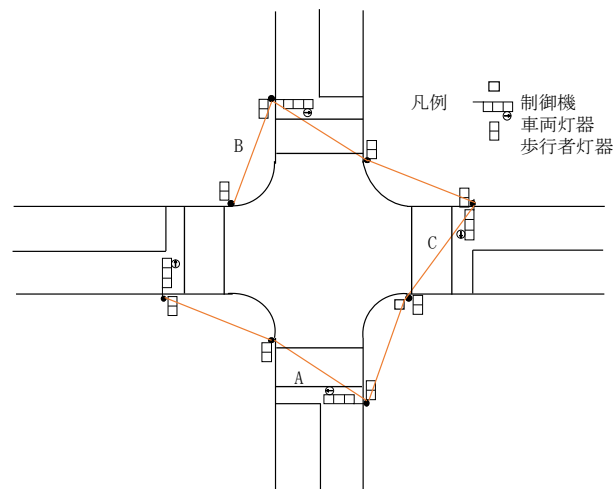
問 2 3 次の（ ）に入るものはどれか。

コンクリート打設工において、気温が高くなるとコンクリートの硬化が早くなったり、水分が急速に蒸発して耐久性が低下する。そのため、打設後 2 4 時間平均気温が（ ）℃を越えることが予想される場合は、「暑中コンクリート」として扱う。

- ① 1 8
- ② 2 0
- ③ 2 4
- ④ 2 5

問 2 4 下記の信号機図面でCの区間で最低必要なケーブル芯数はどれか。ただし、車両灯器用と歩行者灯器用のコモンは別々とする。

- ① 1 0
- ② 1 1
- ③ 1 2
- ④ 1 4



問 2 5 舗装復旧工事で最も適切な対応はどれか。

- ① 仮復旧のみで完了
- ② 原形復旧を基本とする
- ③ コンクリート舗装限定
- ④ 路盤は省略可能

問 2 6 埋設管調査時や敷設時の基本的配慮として最も適当なものはどれか。

- ① 最短距離
- ② 既設物確認
- ③ 深さ省略
- ④ 即時埋戻し

問 27 警察庁では、「ITS」(Intelligent Transport System)の中核である「UTMS」(Universal Traffic Management System)を推進している。その「UTMS」のサブシステムである安全運転支援システムの種類の中で、最も適当でないものはどれか。

- ① 出合頭衝突警報システム
- ② 右折衝突事故防止システム
- ③ 一時停止規制情報提供システム
- ④ 右折巻き込み警報・歩行者横断情報提供システム

問 28 G-G動作確認について記述した中で最も適当でないものはどれか。

- ① G-G動作とは、交通信号機が交錯する現示に対し、青信号を同時に表示した場合、すべての信号灯器を滅灯したのち、閃光動作となることである。
- ② 「復帰ボタン」を押すことにより、閃光動作が解除され、5秒間全赤表示後、第1階梯となる。
- ③ G-G動作となった場合、制御部パネルの「G-G異常」ランプが点滅する。
- ④ G-G検出は、あらかじめ指定された現示と現示間でのみ発生した現象を検出するものである。

問 29 交通信号機の動作確認手順であるが、最も適当なものはどれか。

- ① 電源投入 → 手動動作確認 → 灯色の確認 → 閃光動作確認 → G-G動作確認 → 多段動作確認 → 保安動作確認
- ② 電源投入 → 保安動作確認 → 灯色の確認 → 閃光動作確認 → G-G動作確認 → 多段動作確認 → 手動動作確認
- ③ 電源投入 → 保安動作確認 → 灯色の確認 → 閃光動作確認 → G-G動作確認 → 手動動作確認 → 多段動作確認
- ④ 電源投入 → 灯色の確認 → 手動動作確認 → 閃光動作確認 → G-G動作確認 → 多段動作確認 → 保安動作確認

問 3 0 交通信号制御機の動作確認で最も適当なものはどれか。

- ① 閃光切替器を「入」にし、指定された方向の車両灯器がG又はRの点滅動作となるか確認する。
- ② 主電源投入後、3秒間全赤を表示し第1階梯を表示するかを確認する。
- ③ 閃光切替器を「入」にし、指定された方向の歩行者灯器がRの点滅動作となるか確認する。
- ④ 主電源投入後、5秒間全赤を表示し第1階梯を表示するかを確認する。

以下余白